



# 上小っ子

## 一人一人を大切に協働する授業づくり 高学年研究授業

本校は、教職員の授業力・教師力を高める校内研究活動を積極的に進めています。本年度は、山梨県教育委員会指定「新たな学びに向けた授業改善推進校」として、「個別最適な学び(自分でがんばる学び)」と「協働的な学び(みんなでがんばる学び)」の一体的な充実を図った児童主体の授業づくりに取り組んでいます。10月19日(木)の5校時には、6年1組の清水美季教諭が国語科で「やまなし」(宮澤賢治作)で研究授業を行いました。当日の授業では、「五月」と「十二月」の場面を読み比べて、対比するものを見つけたり、「やまなし」が題名である理由について考えたりすることを目標にしました。子どもたち自らが学習の見通しをもって学習プランを立て、本時の目標を設定して学習を進めました。多くの先生方が見守る中、子どもたち一人一人が安心感をもって学びに向かう姿勢、課題に対し集中して取り組む姿勢が、どの児童からも見られました。

本校では、子どもたち一人一人の違いを大切に、協働して学習を進める児童主体の授業づくりに取り組んでいます。



## 豊かな教育資源の活用を目指して 第2回学校運営協議会

本校は、コミュニティ・スクールとなり2年目を迎えています。コミュニティ・スクールには、学校・家庭・地域の協働のための中核組織として学校運営協議会が設置されています。本年度はPTA 顧問の石井敬二さんが会長を務め、12名で構成されています。10月23日(月)には、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、学校からこれまでの教育活動の成果・課題の報告がされ、それを確認した後、CS アドバイザーの帝京科学大学の前嶋深雪先生による学習会、学習会を受けての熟議を行いました。学習会では、学校を中核とした様々な社会資源のネットワークを見える化し、キーパーソンとなる方を繋ぐリソースマップづくりを目的としました。委員の方々から様々な意見が話され、本校の教育活動を支援する豊かな人的資源があることが分かりました。今後は、学校の教育活動をさらに豊かにするために、学校・保護者・地域の方々との協働をさらに進めていきたいと思ひます。



## 4年生 市小中学校音楽会

4年生は、10月25日(水)の午前中に上野原市小中学校音楽会に参加しました。3年間、新型コロナウイルス感染症のため中止となっていました。本年度より再開しました。4年生の子どもたちの発表は、各校の最後で、「歌のにじ」のリーダー演奏、「Smile Again」の合唱を発表しました。緊張感の中、一人一人の子どもたちの一生懸命な姿勢、伸びやかな元気な歌声が会場に響きました。会場からも大きな拍手を頂きました。4年生の子どもたちにとって、自信となる有意義な時間になったと思ひます。

## どんぐり読書週間

本校では10月23日(月)から11月2日(木)までの2週間を「どんぐり読書週間」としています。期間中は、図書委員会による読書ビンゴ、担任の先生による読み聞かせ、家読(うちどく)など様々な取組を行います。10月25日(水)には、図書委員のみなさんが協力して1・2・3年生に本の読み聞かせを行いました。123年生の子どもたちは、図書委員のお兄さん・お姉さんの読み聞かせを集中して聞き、読み聞かせを楽しんでいる様子が見られました。これを機会に、ますます本に親しむようにしていきましょう。

